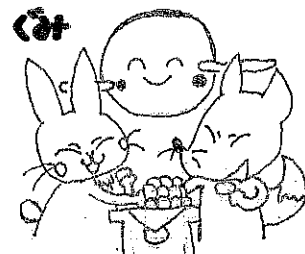




しいの実ぐみ たんぽぽぐみ みずぐみ

クラスだより

2022.9. えんまちまぶねりんぽえん



外に出ればまだ汗ばむ季節ではありますが、心地良い風や朝夕の涼しさに少しずつ秋の気配を感じられるようになりましたね。プール、水あそびが終わり、子どもたちは有り余る体力で散歩や園庭あそびなどを思いきり楽しんでます。公園など戸外へもどんどん行き、自然に角虫や色々な秋を見つけるなど、秋を楽しみたいです。

しいの実ぐみ



新入園児がカロワリスタロとよりました。ふり層にぎやか(に)ぶた保育室は子どもたちの声でいっぱいです。歩行もほとんどの子どもができて楽しく歩いていきます。四つ這い歩きの進めるスピードや距離が増し、みんな保育室を自由に探索しています。また最近の子どもたちは他児に対する思いが出始めていて涙している新入園児に近寄り、"はは、そと撫でたり、じと見つめたりとまるで"大丈夫だよ"と言ってくれているようです。その一方でおもちゃの取り合いや場所の取り合いなどの思いのふり合いも見られるようになりました。そんな"意思"が目に見えて表れる保育室は毎日色々な"思い"で溢れています。



動きのある 保育室

4月と比べて、保育室のレイアウトを大きく変え、今回は歩行を楽しい子どもたちにたくさん歩いて色々な動きをして欲しいという思いから相川や相川台などを点々と置き、そうすることによって"真直"歩けたら、曲がって乗り越えてを繰り返すようにしています。そんな保育室にしてから数ヶ月経ちました。子どもたちは保育室にも慣れ始めると同時に動きも少しずつ変わってきました。まず、お台で階段を登るのにはもろもろ、下から四つ這いで上がり、降りた後階段を降りたり、お台のななな感じとどんどん遊び方が進んでいます。最初は見ていただけだった子どもたちも今ではみんな登っています。保育室での歩行は相川を避けたり、小さな階段を乗り越えたりと試練がいっぱいあります。尻もちをついてもまたすぐに立ち上がり歩いたり、車などで涙が出て自分でも落ち着きまた歩き始めたりと元気張っています。子どもたちの表情は笑顔であり、時に真剣です。歩行が楽しくなってきたため、階段登りもできるようになってきていて、散歩から帰ってきた時は、"お部屋に帰るよ"と開くと一番に階段へ向かっていき、周りを気にしながらもそれぞれのペースで登っています。色々な身体の動きを楽しんでいる今を大切に一人ひとりに合ったペースで成長してほしいと思っています。



たんぽぽぐみ

9月から新しいお友だちが1人増え、11人となったたんぽぽ組です。心や身体も開放的になり楽しんでいた8月のプール遊びを終え、9月はたくさん散歩に出掛けました。春に散歩に出掛けていた頃よりも体力もつき、長い距離も歩けるようになってきていて"いっぱい歩けるねー!"と保育者も驚きの毎日です。

最近はお友だちと手をつないで歩こうと声を掛け合っています。"○○ちゃんとなつな"と自分から誘いに行く子どももいますが、まだまだ自由に歩きたいたんぽぽ組の子どもたち。保育者と手をつないで歩くには慣れてきましたが、お友だちとなつなると"イヤ"と言ったり手を後ろに隠したり、散歩に出発するまでにたくさんの思いがあります。

その日、その時で気分が変わり、友だちと手をつないだり、つないだり、つないだりありますが、いざ手をつなぐと顔を合わせると、"と、と、可愛らしい姿があり、今日お友だちとなつなげたね〜"と声を掛けるとうれしそうです。散歩先では、まだ残暑が残っているのに汗をたくさんかいて身体を動かしています。なので園に戻った後の屋上での少しの水あそびとシャワーも子どもたちにとっては楽しいひと時になっています。散歩で疲れているのにシャワーの水を出すと"キャー!!"と水にかかりに来てまだ元気いっぱいの子もいます。外気に角虫や日光に当たれば食欲もあき、ぐっすり眠れます。

10月もたくさん散歩に出掛けて、みんなで秋を探し楽しんでいきたいです。



お着替えチャレンジ

毎日の園生活でくり返し衣服の着脱をしています。お家の方にマーク付きのゴムでセットしていただいている衣服の中から自分の衣服を探します。"これ!"、"あ、た〜"と衣服を見つけ出し自分のマークの付いたゴムを自分で外して保育者に"はい"と渡してきます。月齢が高いお友だちはTシャツに自分で頭を通したり、おむつやズボンで自分で足をはけるようになってきました。月齢が小さいお友だちも保育者と一緒に着脱をしています。"足あげて〜"と声を掛けると自分でズボンに足を通そうとしたり、ズボンのゴムを持って"ぎゅ〜"とお腹の方へ持ち上げます。一人ひとり個人差はありますが個々のペースを大切に衣服の着脱を見守っています。ご家庭でも大人が手伝った方が早いと思ってしまうことも多いと思いますが、子どもが自分でしようとする姿を見守ってあげてください。そして自分でやってみようとしていたり、できた時はたくさん笑顔であげてください。大好きな人に認めってもらって自己肯定感が高くなり色々な意欲につながっていきます。園でも自分でしようとする気持ちでできた時の喜びを共感し達成感を大切にしていきたいと思っています。



お散歩楽しいね!



★ 祖父母への手紙 ★

おじいちゃんおばあちゃんにお手紙を書こうねとお話ししてから、クレパスで描きました。(何色も使ってカラフルな絵を書きました)みずぐみの子どもたちです。描き終ると"ハッピー"と沢山描き込んだ事に満足して"おじいちゃんおばあちゃんへのお手紙"ということ(は)忘れていた本業の子も多かったですが、それもこの年齢だからこその姿かな...とかわいく思いました。今はまだ、ほとんどの子どもたちが"描く"という行為が楽しく集中して描いています。それが"少しずつ、描いた絵にあとからイメージを重ねて"これ〇〇"と話すようになってくるので、これから(は)その絵とお話が"楽しい"な、てくるかな...と思います。また変化していく絵を保育者の方と一緒に見ていけたら、うれしいです。



★ 感角虫あそび ★

みずぐみにして、泥んこ遊びや絵の具でぬたくり、水、片栗粉、寒天等々、感角虫あそびを意図的に取り組んできました。最初の頃は、色紙に角虫のしなな、たり、指先でちゅん。とだけ角虫、終わる等。苦手意識の強い子どもも多かったのですが、夏にプールや水あそびで、心も身体も解放して遊び、楽しい雰囲気も広がってきて、"泥んこや絵の具で"みんな楽しんでるようになってきました。

たんぽぽ組と一緒に行った"寒天あそび"では、カラフルな寒天に目をキラキラさせ、"ワクワク"とした感角虫にワクワクした表情であそび始めました。手ごたえをぐぐぐと潰し、それをカッパに入れて保育者の戸へ"みてみて!!"と手をとります。まるで"キレイでしょ!!"とびの音が"聞かえてくる"かのようなイキイキとした表情で見せてます。色々な色寒天を混ぜ合わせ、新しい色になって"アッ!!"と驚きと喜びの混ざった声。とても良い発見を沢山見せていました。これからも、"びがワクワクするよう"に感角虫あそびをやりたいと思います。

